

ALC-PRO2 PC移設作業

手順書

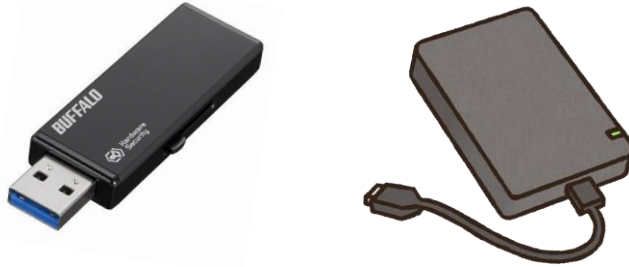
事前準備

PC移設を行うにあたり、事前にご準備ください

■ 管理者権限の付与



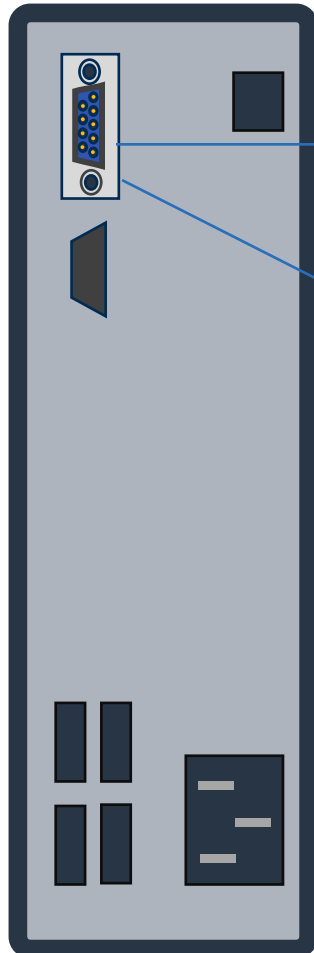
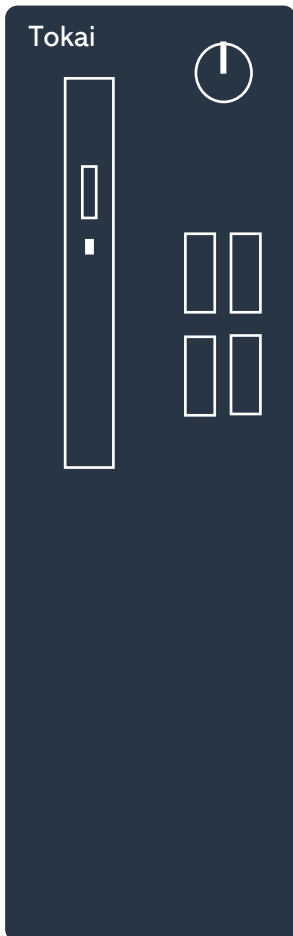
■ USBメモリ・SSD・HDDなどのデータ移設用機器



※新PCに232Cポートがない場合

■ 232C USB変換ケーブル

(弊社推奨：BSUSRC06 or BSUSRC07バッファロー社製)



RS-232C D-sub 9ピン
(オス)

アルコール検知器は
232Cケーブルを使用し、
繋げています。
旧PCで232Cケーブルを使用
し繋げていた場合、
新PCでも同様の差込口がある
かどうかをご確認ください。
差込口がない場合は232C
USB変換ケーブルをご購入くだ
さい。

目次

旧PCでの作業

旧PCのALC-RecのVerを確認	4
旧PCのデータをコピーする	6

新PCでの作業

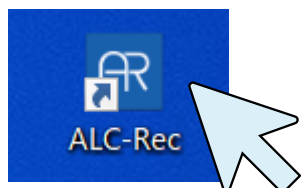
新PCにALC-Recをインストールする	11
旧PCのデータを移設する	14
アクティベートを行う	18
ドライバーをインストールする	21
免許証のドライバーをインストールする	26
確認する	31
機器を設置する	33
測定器とALC-Recを連動する	37
電源設定を行う	41

旧PCのALC-RecのVerを確認

旧PCのALC-RecのVerを確認

step1

ALC-RECバージョンを確認するために、旧PCのデスクトップ上のALC-Recを起動します。



現状ご使用中のアプリバージョンと作業を行うインストーラーのバージョンに相違がある場合、不具合を起こす可能性がありますため、必ずご確認ください。

step2

画面左上のVerを確認します。

(例)ver3.07.001



作業を行うインストーラーのバージョンと同じかどうかご確認ください。

(■CD-ROMの場合：表面にバージョン記載有)

■ダウンロードURLの場合：

ダウンロードURLにバージョン記載有

※相違がある場合は、コンタクトセンターまで※



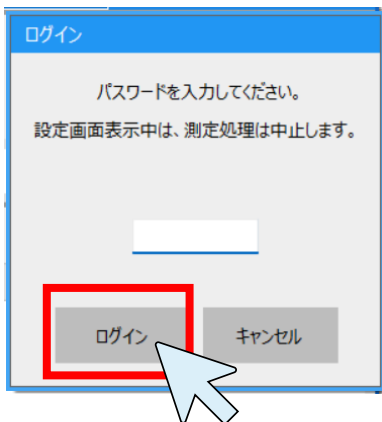
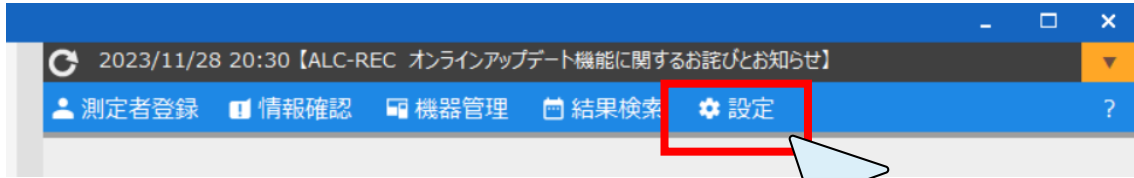
0120-609-100

旧PCのデータをコピーする

旧PCのデータをコピーする

step1

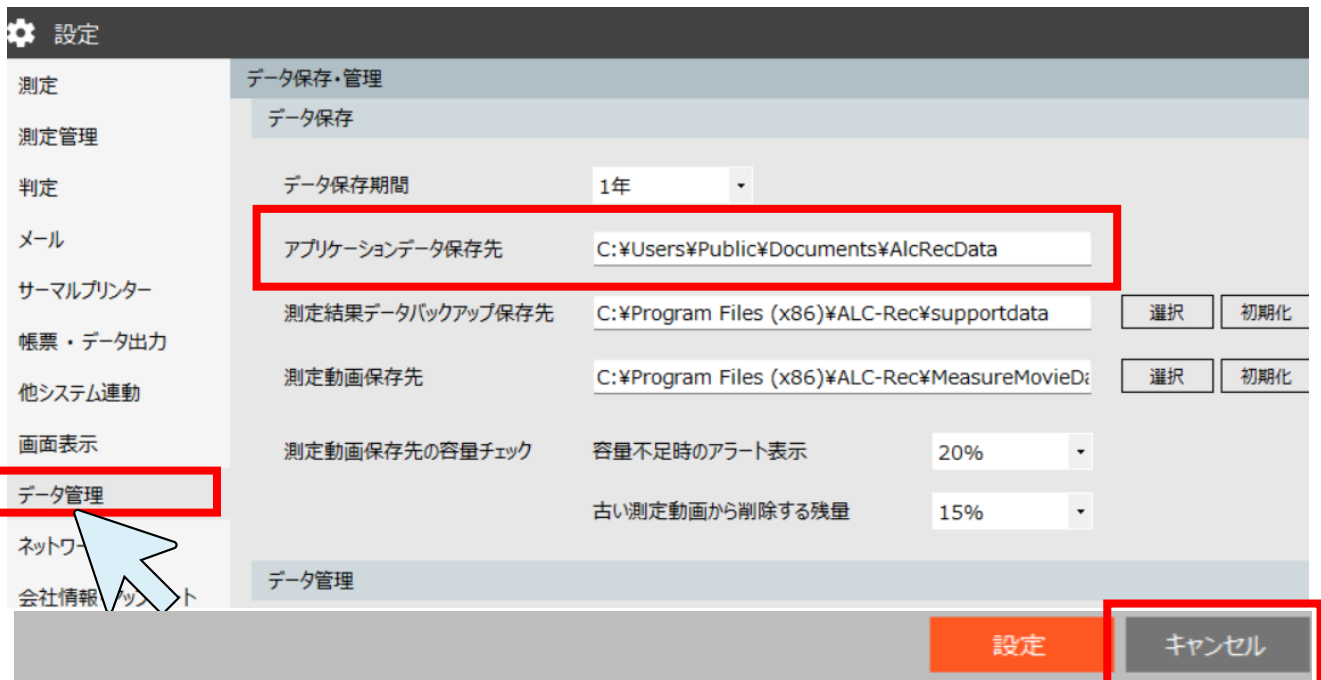
移設するデータがどこに保存されているか確認します。
画面右上の【設定】を押します。



パスワードを入力しログインします。
パスワードは【0000】です。
※変更している場合は、変更後のパスワードをご入力ください。

step2

データ管理を押し、左側のデータ保存・管理メニューから
【アプリケーションデータ保存先】を確認します。



確認後、設定はキャンセルで閉じます。
そしてALC-Recアプリも閉じてください。

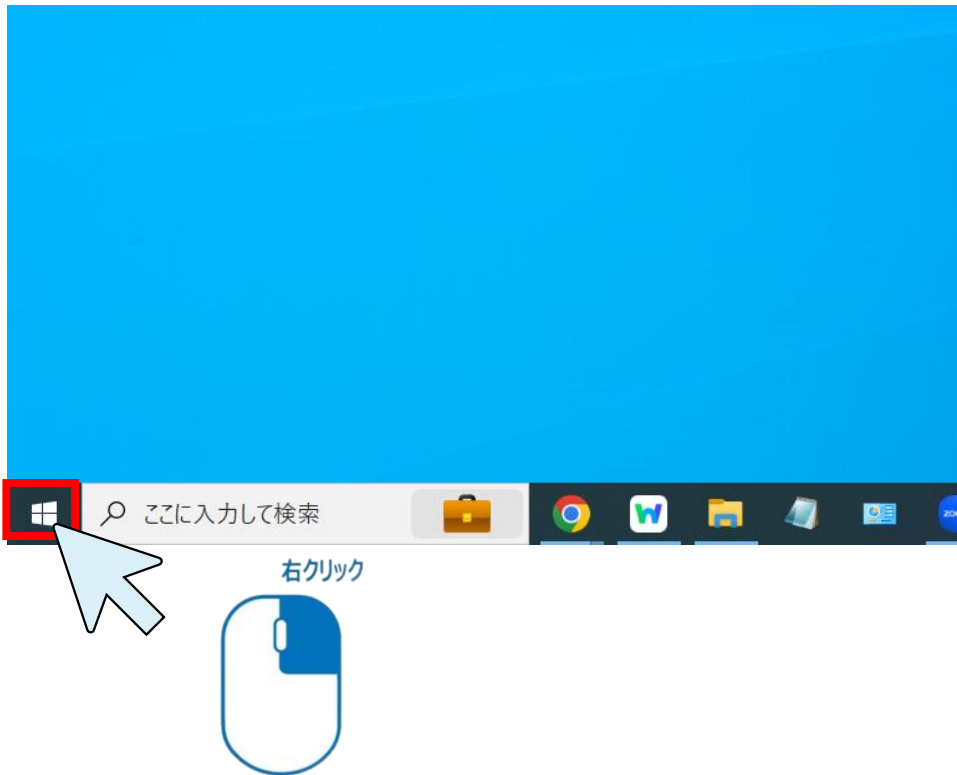
旧PCのデータをコピーする

step3

Step2で確認したフォルダを開きます。

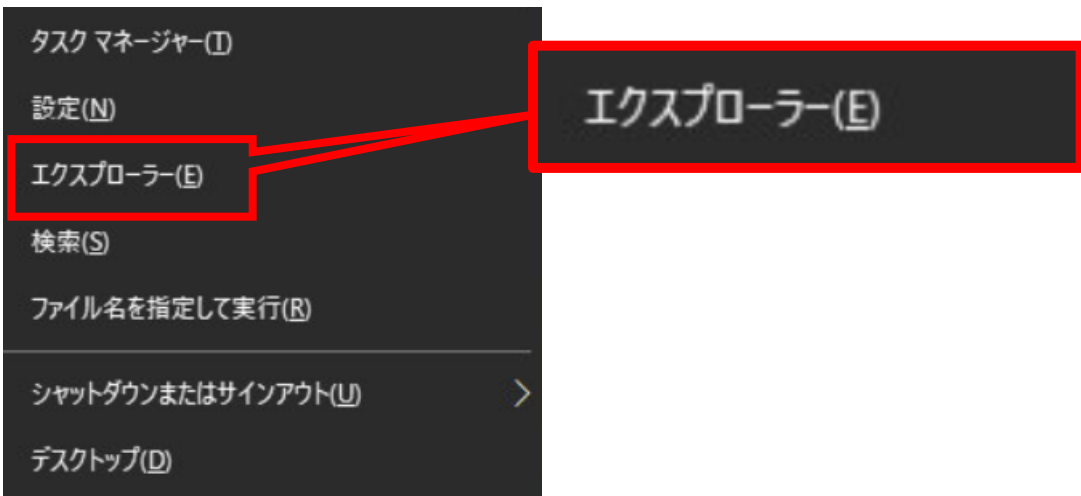
例 C:¥Users¥Public¥Documentsの場合

01 PCのデスクトップ左下にある  を右クリック



step4

02 エクスプローラーを選択



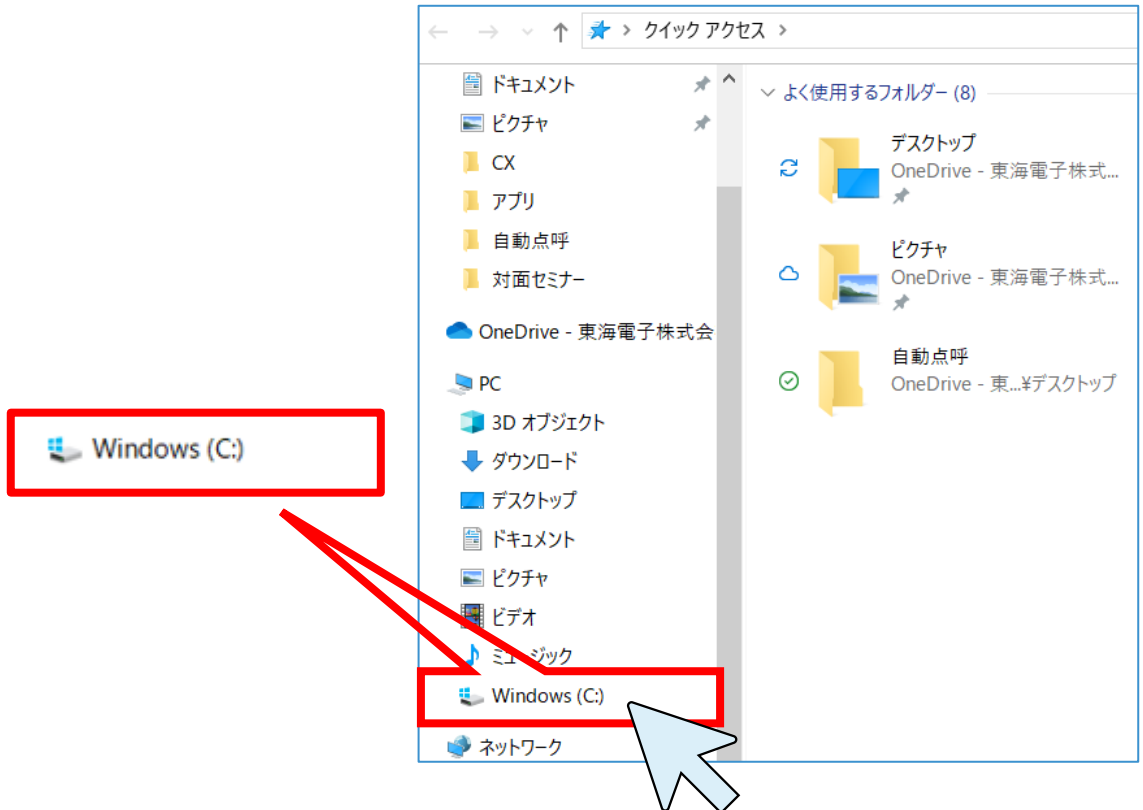
旧PCのデータをコピーする

step5

Step2で確認したフォルダを開きます。

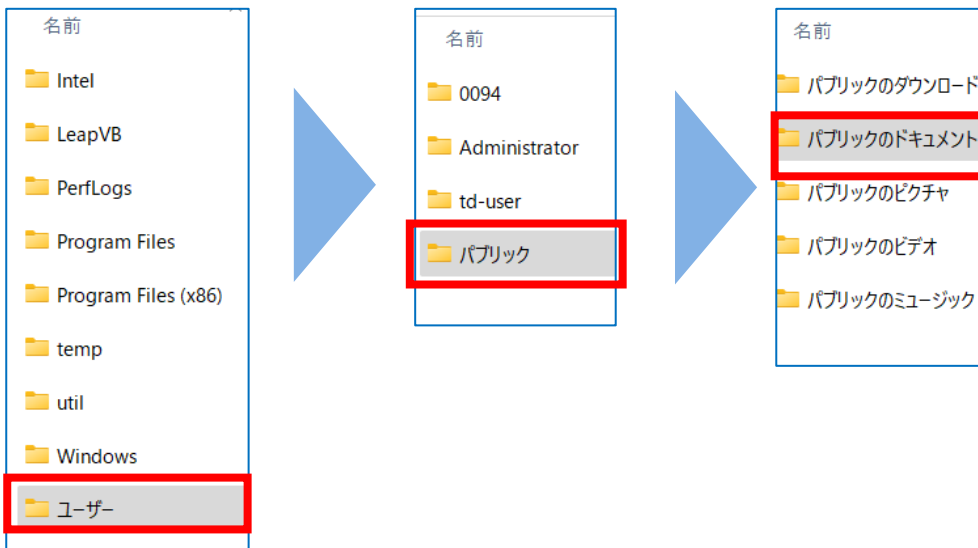
例 C:¥Users¥Public¥Documentsの場合

03 Windows (C:) をクリック



step6

04 以下のフォルダを順次選択（ダブルクリック）



旧PCのデータをコピーする

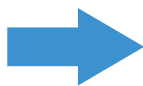
step7

Step2で確認したフォルダを開きます。
例 C:\Users\Public\Documentsの場合

05 ALC-RecDateを選択してコピー



左クリック



右クリック



ファイルを選択（左クリック1回）してから右クリック

step8

名前



コピーしたAlcRecDateをUSB等にコピーして、
移設するデータを抜き出します。

新PCにALC-Recをインストールする

新PCにALC-Recをインストール

- 以下の手順で新PCにアプリをインストールします

step1



- ダウンロードURLで行う場合
新PCでダウンロードを行ってください。
- ALC-Recの CD-ROMで行う場合
新PC にセットします。

※旧PCと同じVerのアプリをインストールしてください。

step2



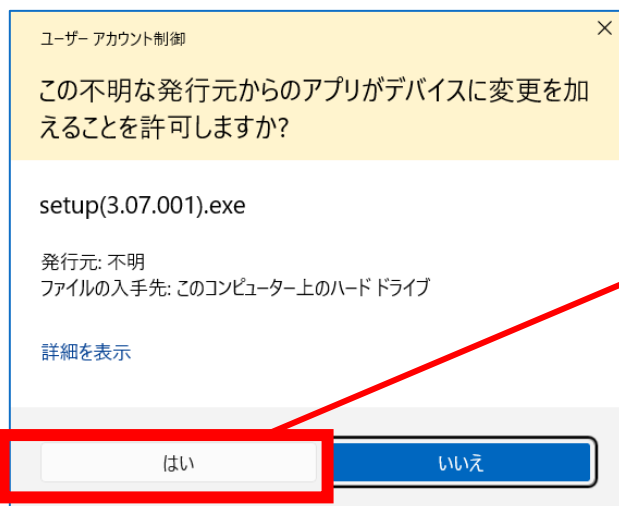
Setup.exe

右クリック



Setup.exe を右クリックし、
【管理者として実行】を
押します。

step3

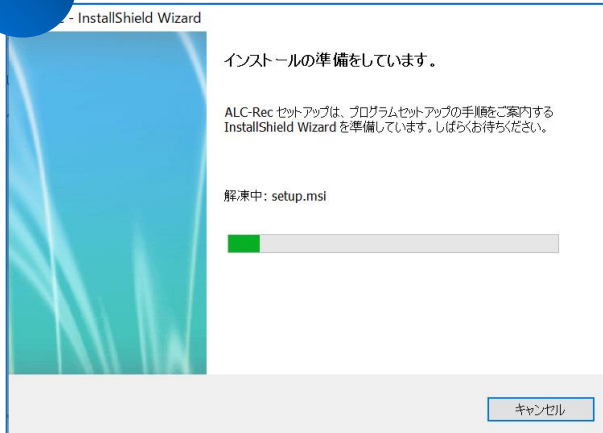


「はい」を選択

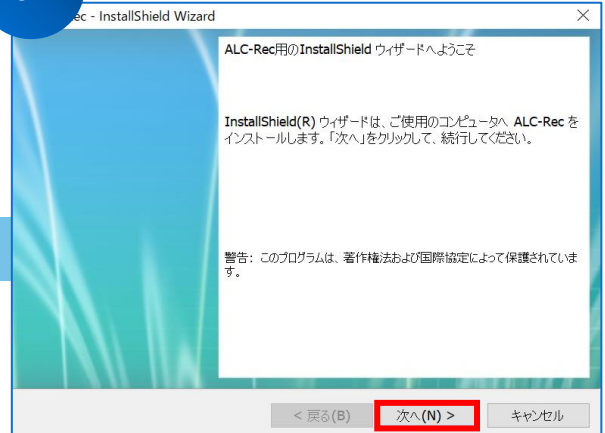
新PCにALC-Recをインストール

step4

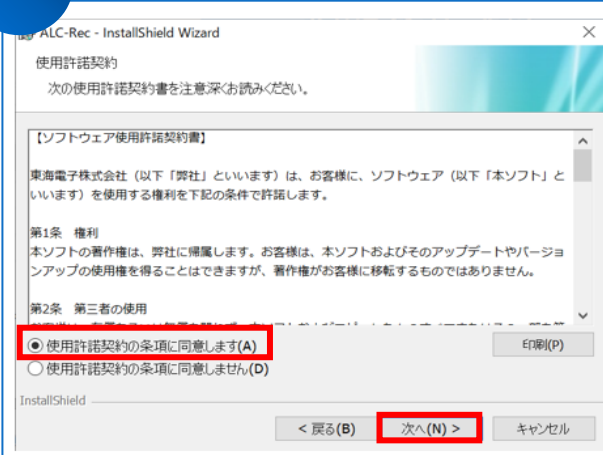
01



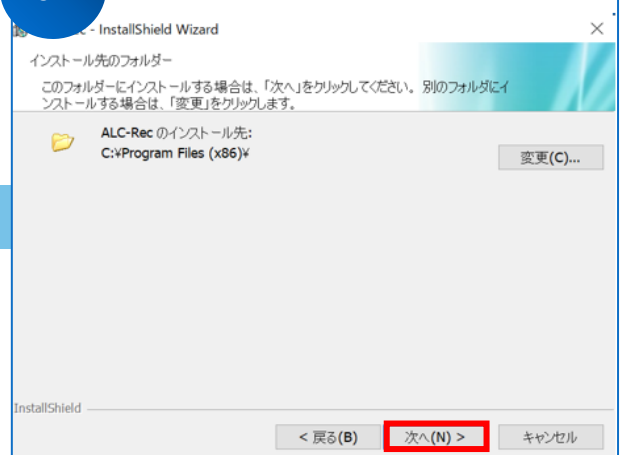
02



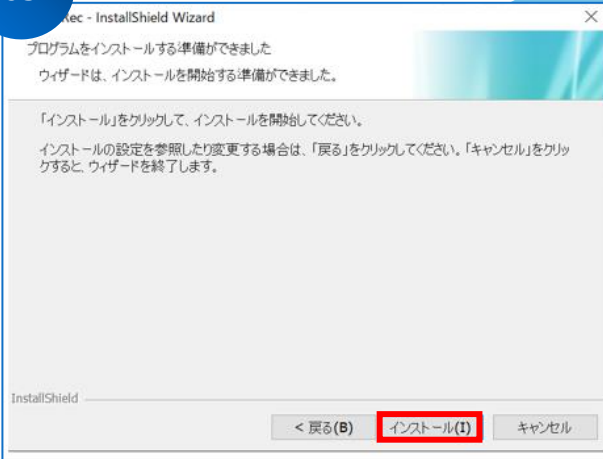
03



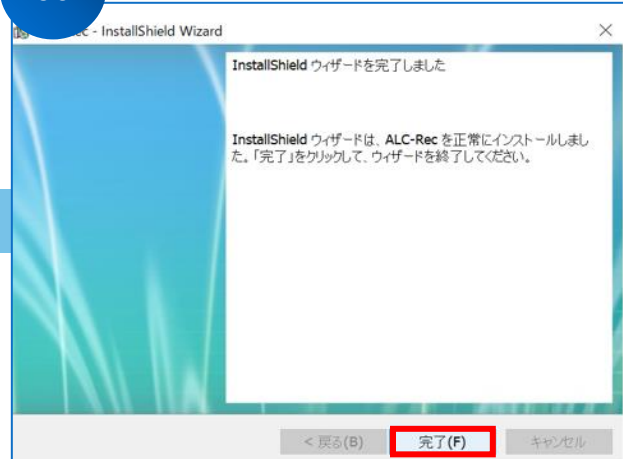
04



05



06



07

デスクトップにALC-Recというアイコンが出ていればインストール完了です。



旧PCのデータを移設する

旧PCのデータを移設する




先ほどUSBで抜き出した「AlcRecDate」フォルダを、新PCへ貼り付けし、ファイルを置き換えます。

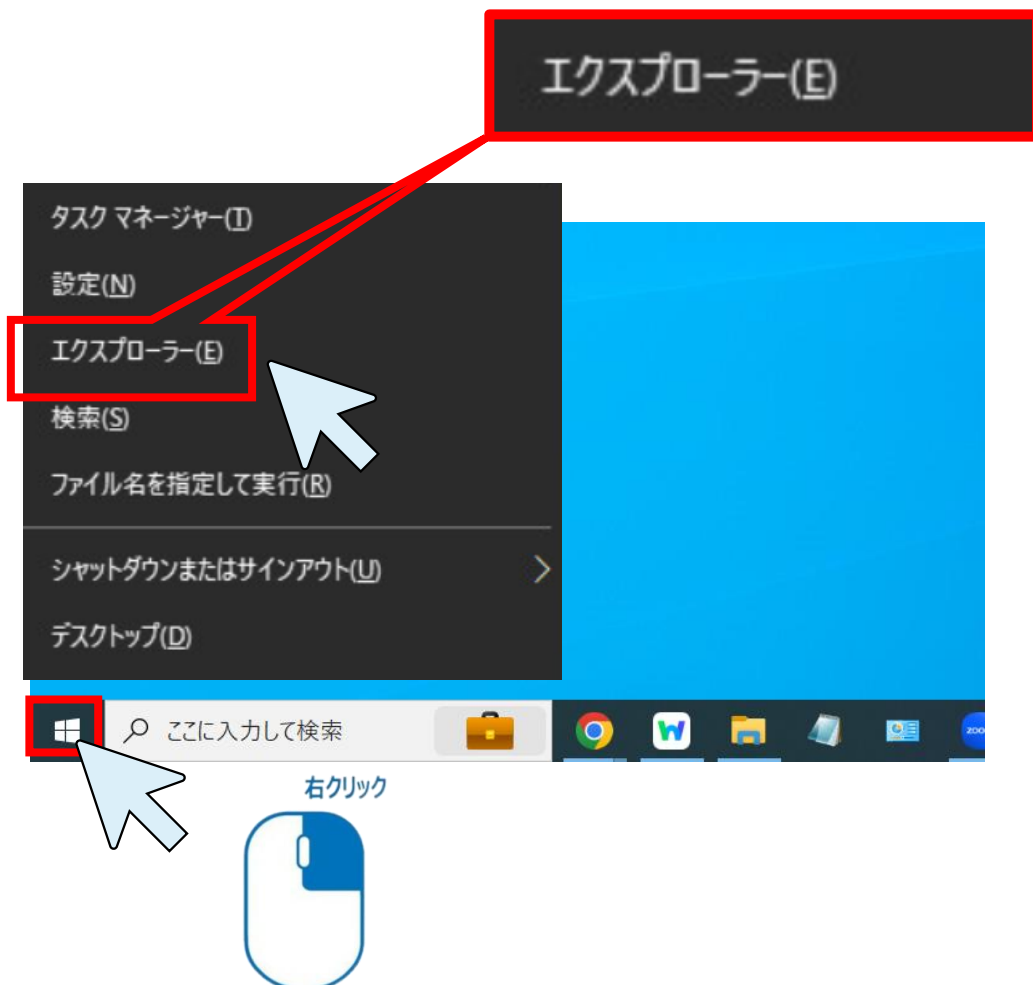
※②(P.5)で確認した【アプリケーション保存先】と同じ場所に置き換えてください。

例 C:¥Users¥Public¥Documentsだった場合

Step1

01

PCのデスクトップ左下にある  を右クリック
⇒エクスプローラーを選択

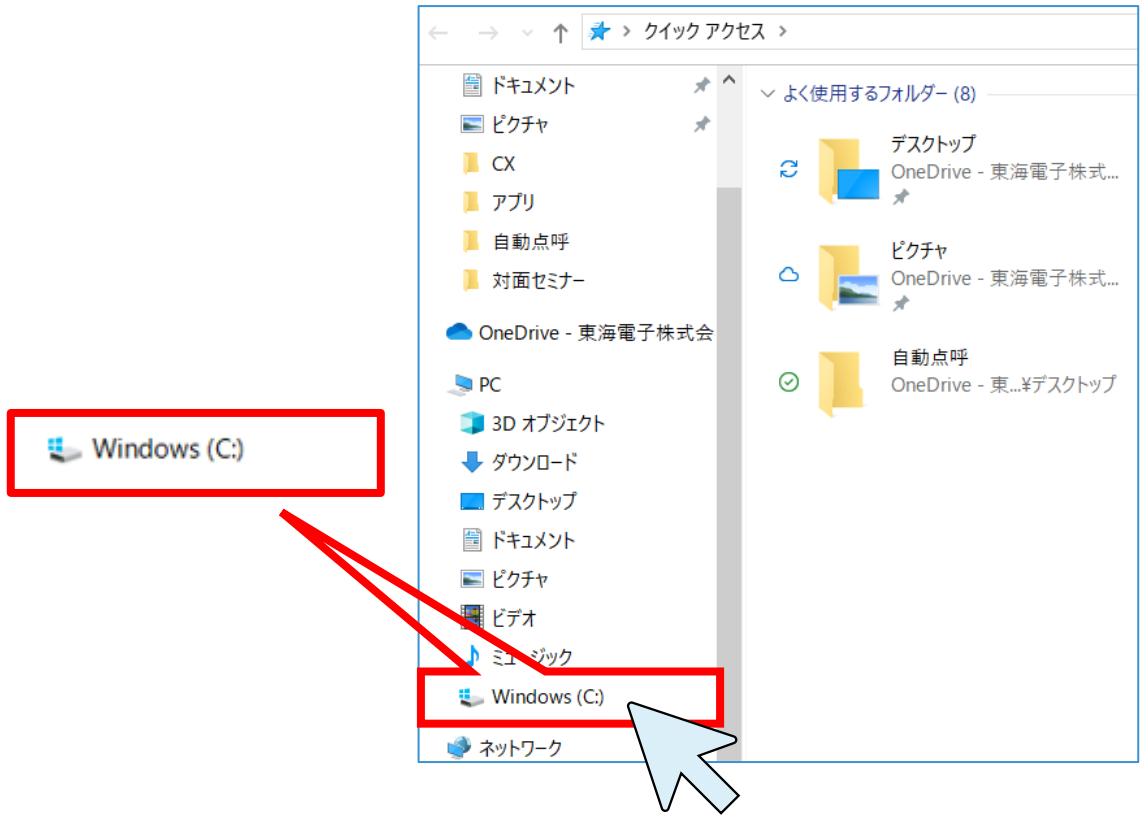


旧PCのデータを移設する

Step2

02

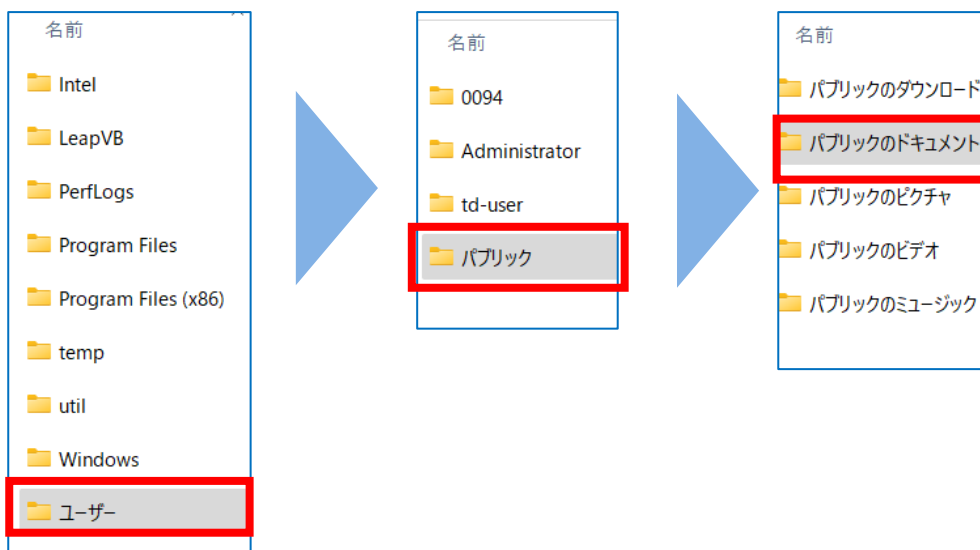
Windows (C:) をクリック



step3

03

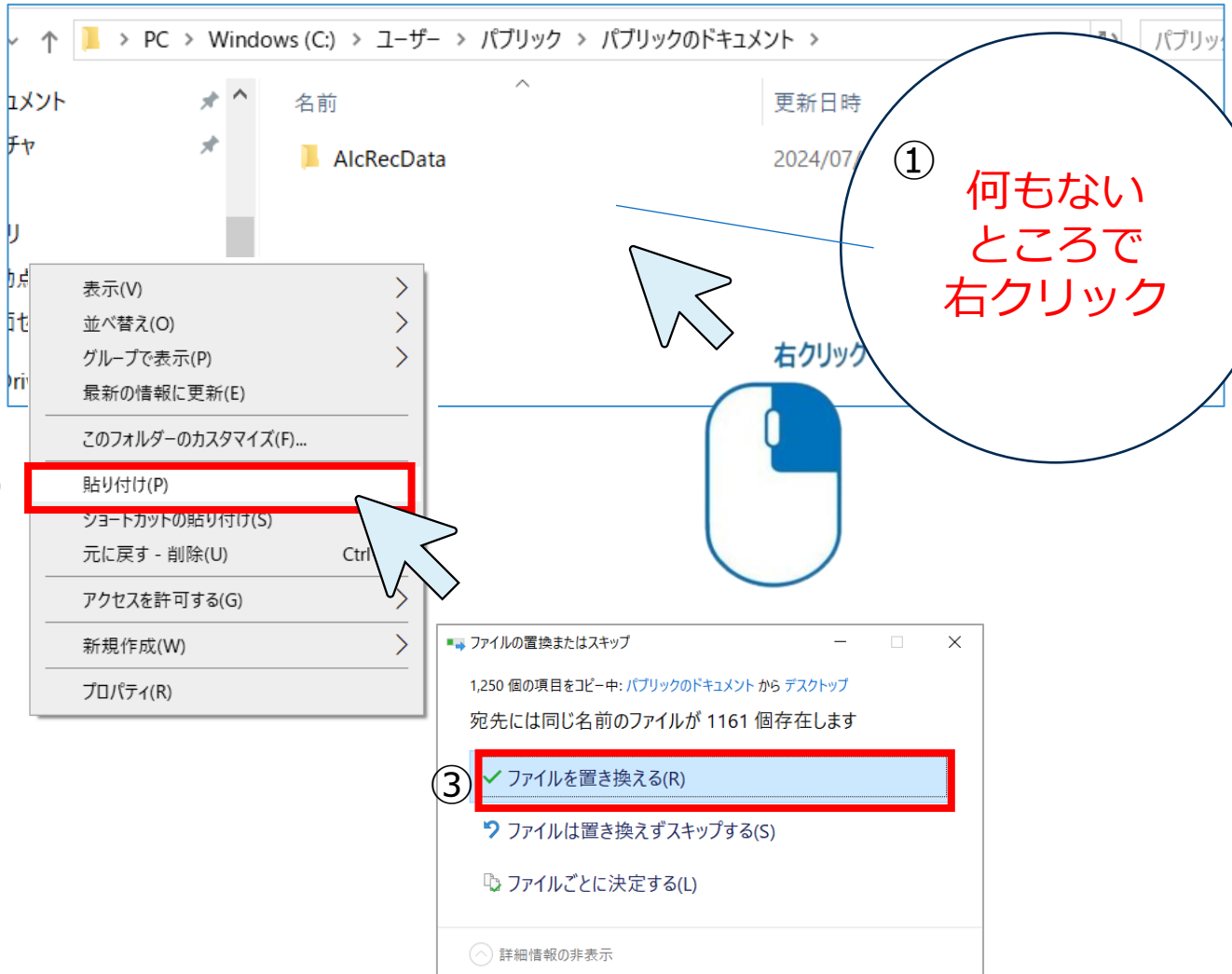
以下のフォルダを順次選択（ダブルクリック）



旧PCのデータを移設する

Step4

- 04 ALCRecDateがあるフォルダの**何も無いところで**右クリック⇒貼り付け⇒ファイルを置き換えるを選択。



※ALCRecDateフォルダ内にコピーをしないようご注意ください

データの移設完了

アクティベートを行う

アクティベートを行う

各機能がつかえるよう、以下手順でアプリをインストールします。
(※各機能のご利用がない方は作業不要です。⇒P22へ)

- ・免許証ご使用の方
- ・血圧計ご使用の方
- ・体温計ご使用の方 など

step1

- ダウンロードURLで行う場合
新PCでダウンロードを行ってください。
(Tool_Activate.と表記がされているURLが
アクティベート用です。)



- ALC-Recの CD-ROMで行う場合
新PC にセットします。
(ALC-Rec 拡張ディスク (IC 免許証・点呼・監視灯)
と記載された CD-ROM がアクティベート用です。)

step2



Setup.exe

ダウンロードしたフォルダ内
(CD-ROMの場合はCD-ROM内)にある
「Tool_Activate.exe」
をダブルクリックします。

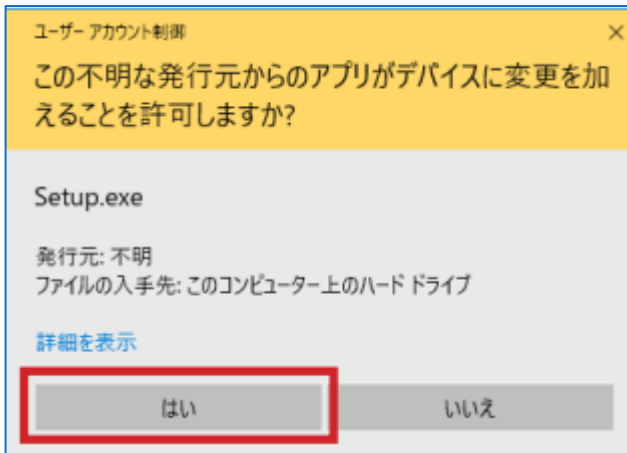


注意

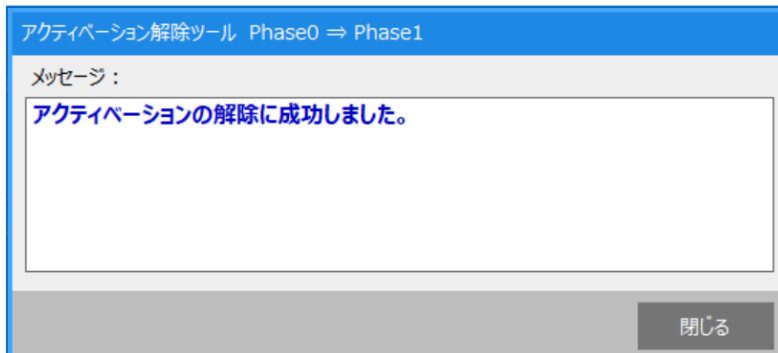
インストール前に、ユーザー権限
が「管理者 (Administrator)」で
あることを確認してください。

アクティベートを行う

step3



「はい」を選択



アクティベート完了

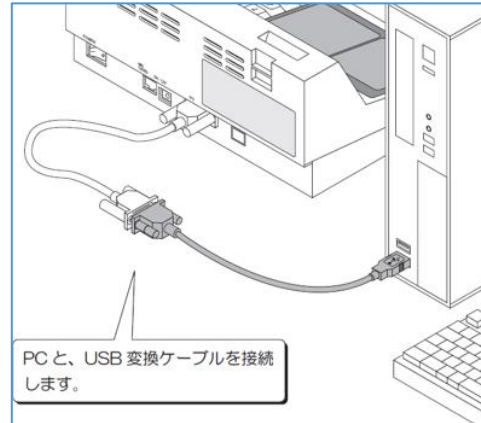
ドライバーをインストールする

ドライバーをインストールする

step1

以下をご使用いただく方は各ドライバーをインストールします。

- ・ ALC-PRO II をUSB変換ケーブルを繋いでご使用の方
- ・

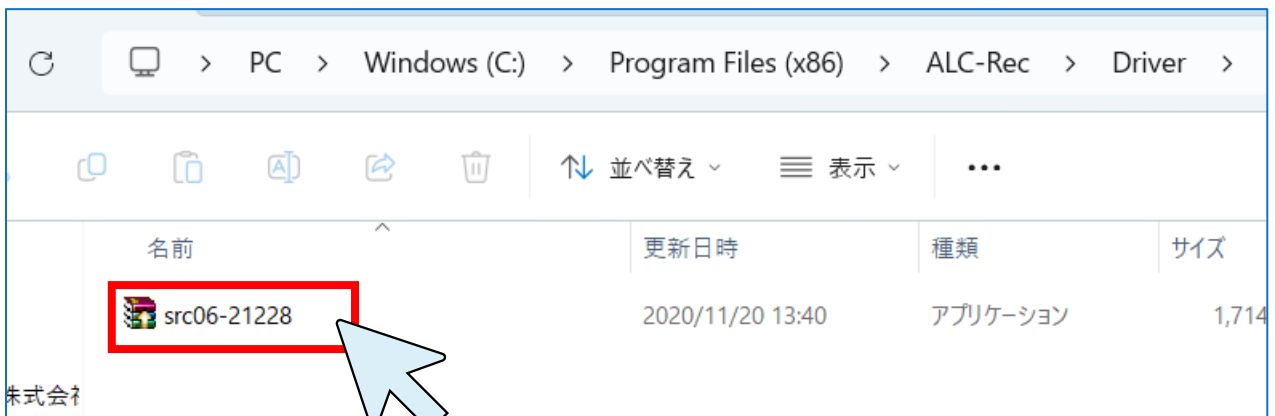


USBシリアルケーブルを
PCに接続しておく

step2

C:\Program Files (x86)\ALC-Rec\Driver\USB_232C_Driver\BSUSRC0605BS

上記のフォルダを開いて「src06-21228」を右クリックし、
管理者として実行を選択してください。ダブルクリック



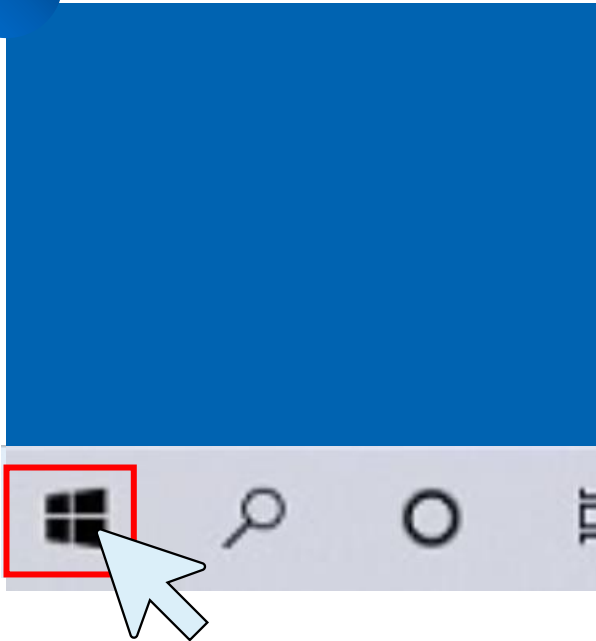
注意

インストール前に、ユーザー権限
が「管理者 (Administrator)」で
あることを確認してください。

ドライバーをインストールする

step3

01



画面左下のwindows
マークを右クリック

02

アプリと機能(F)
電源オプション(O)
イベントビューアー(V)
システム(Y)
デバイス マネージャー(M)
ネットワーク接続(W)
ディスクの管理(K)
コンピューターの管理(G)

デバイス マネージャーを選択

step4

03



04

ドライバーの更新(P)
デバイスを無効にする(D)
デバイスのアンインストール(U)
ハードウェア変更のスキャン(A)
プロパティ(R)

PCがネットにつながっている場合、ケーブルを挿すだけで自動的にドライバーが入ることがあります。その場合上記のこの作業は不要です。

ドライバーをインストールする

step5

ドライバーの更新 - USB Serial Port

ドライバーの検索方法

→ ドライバーを自動的に検索(S)
お使いのコンピュータで、使用可能な最も適したドライバーが検索され、デバイスにインストールされます。

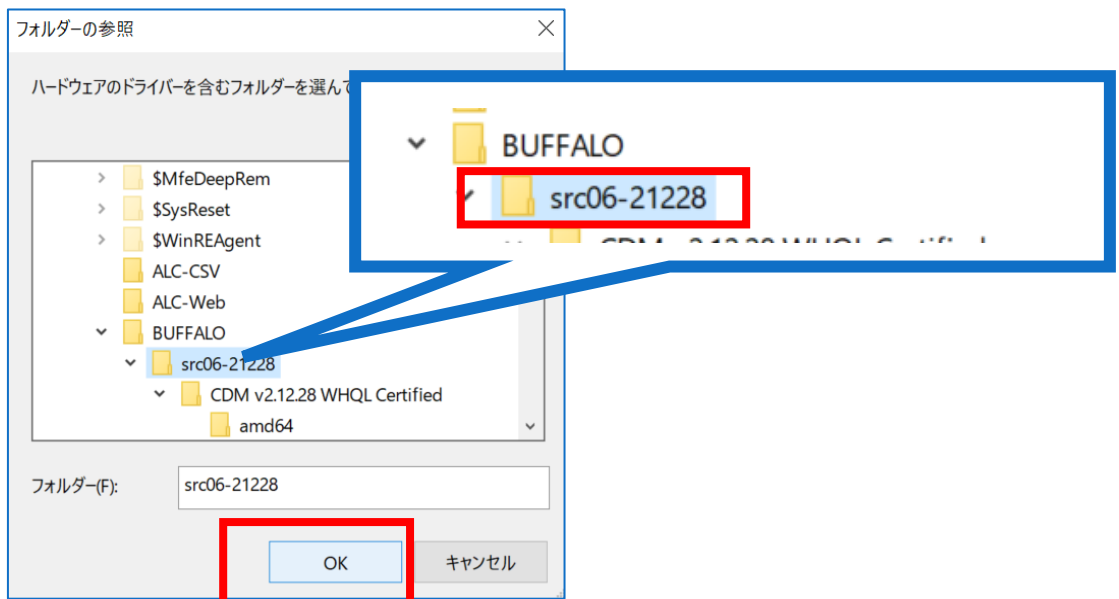
→ コンピューターを参照してドライバーを検索(R)
ドライバーを手動で検索してインストールします。



step6

- P.10で入れた下記のフォルダを選択

C:¥BUFFALO¥src06-21228



フォルダーの参照

ハードウェアのドライバーを含むフォルダーを選んでください


- > \$MfeDeepRem
- > \$SysReset
- > \$WinREAgent
- ALC-CSV
- ALC-Web
- ▼ BUFFALO
 - ▼ src06-21228
 - ▼ CDM v2.12.28 WHQL Certified
 - amd64

フォルダー(F): src06-21228

OK キャンセル

ドライバーをインストールする

step7

更新後デバイスマネージャー上に  この表示が出ていれば、再度同じ手順(P.13)でドライバーを更新してください。



step8



デバイスマネージャーのポート(COMとLPT)の中に、「USB Serial Port(COM〇〇)」が出ていれば完了です。
※COM〇〇の部分の番号は企業様によって異なります。

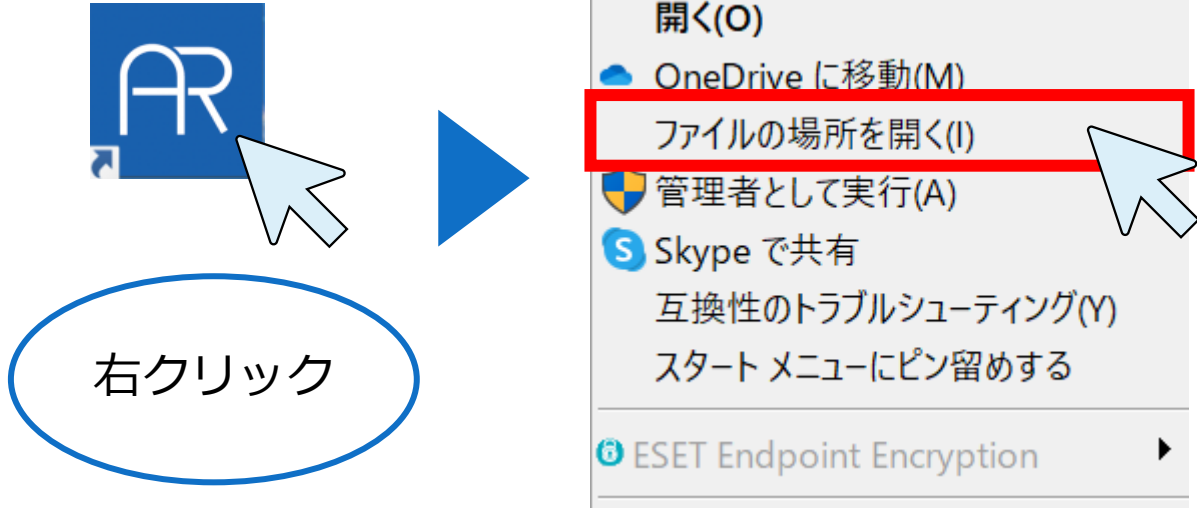
免許証のドライバーをインストールする

免許証リーダーのドライバーをインストールする

Step1

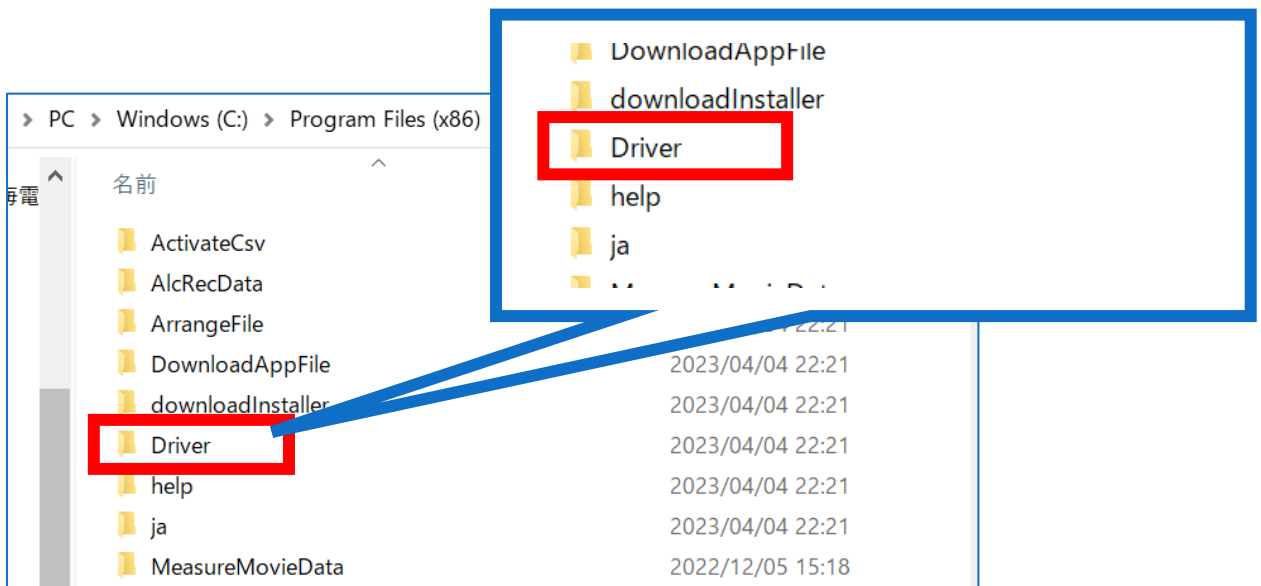
※免許証リーダーのUSBコードは必ず抜いた状態でドライバーをインストールしてください
免許証リーダーを使用されていない場合はP.31以降の作業をお願いします。

- デスクトップ上のALC-Recを右クリックして、ファイルの場所を開くを選択



Step2

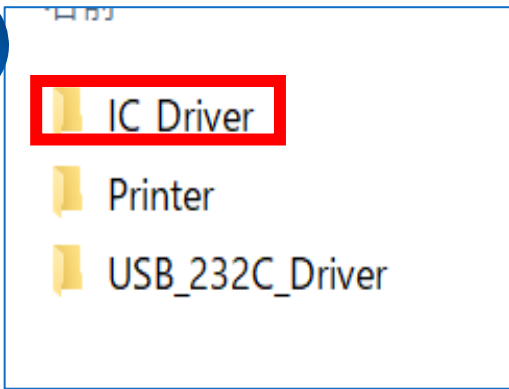
- Driverを選択



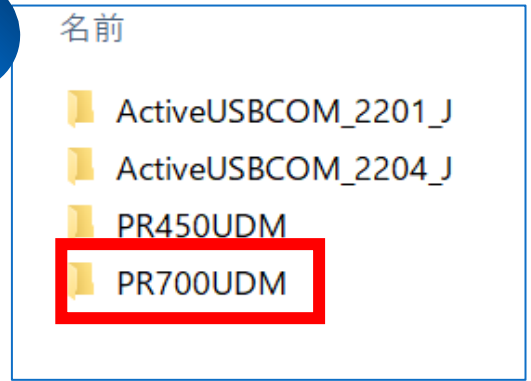
免許証リーダーのドライバーをインストールする

Step3

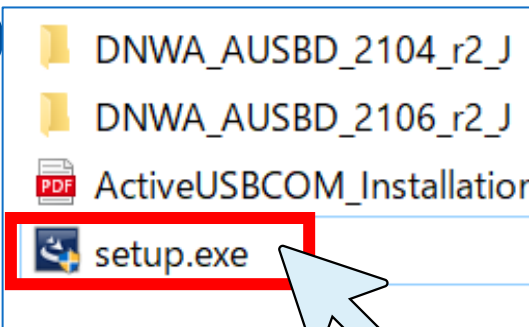
01



02



03



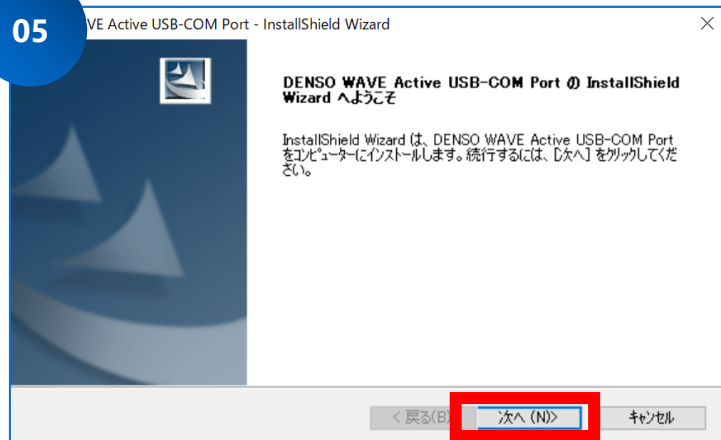
右クリックし、
管理者として実行を
選択してください

Step4

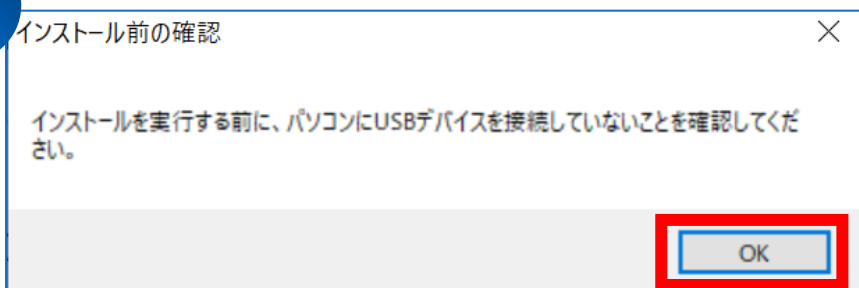
04



05

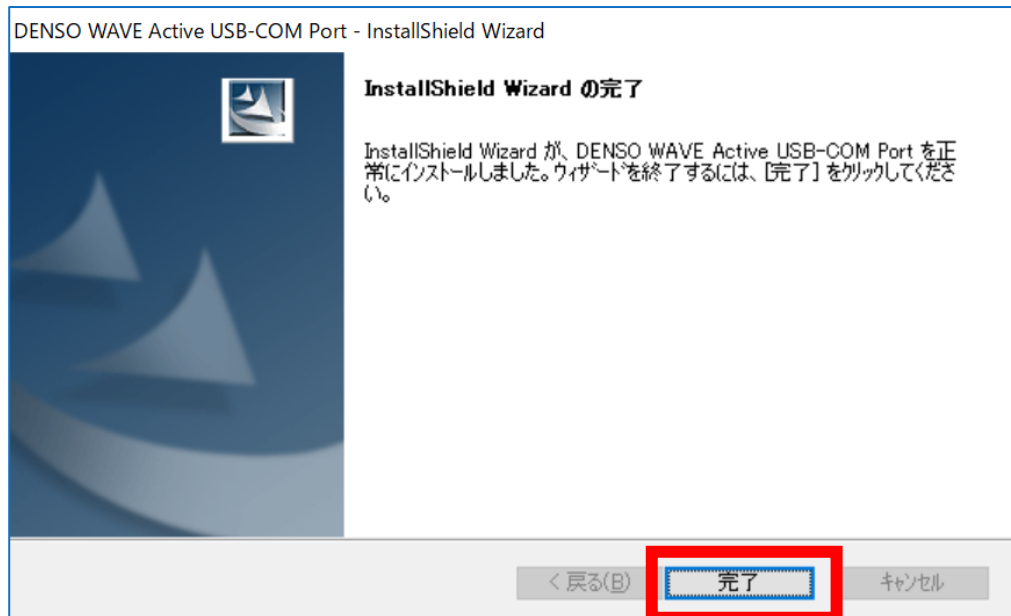


06



免許証リーダーのドライバーをインストールする

Step5



Step6

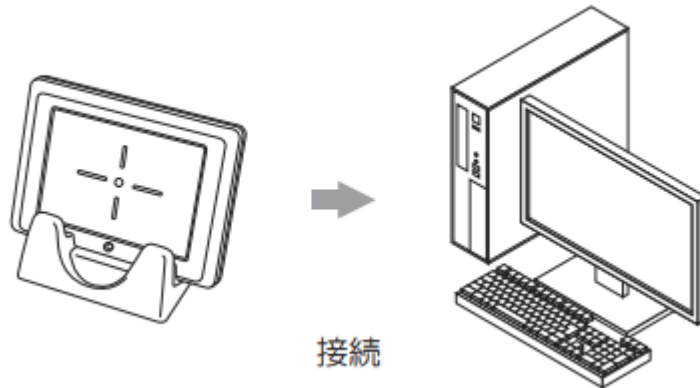


デバイスマネージャ⇒ポートに
DENSO WAVE Active USB-COM Port(COM〇〇)
があればインストール完了

免許証リーダーのドライバーをインストールする

step7

アクティベート完了後にIC免許証リーダーをPCに繋げる。
※必ずドライバーのインストールとアクティベートを行ってから接続してください。



注意

※免許証リーダーのUSB差込口は1回目に挿したところしか認識しませんので、USBを抜いてしまった場合は、必ず同じところに挿していただくようお願いいたします。

デバイスマネージャー上では、IC免許証の接続を行うとConnectedと表示されます。



Connected

確認する

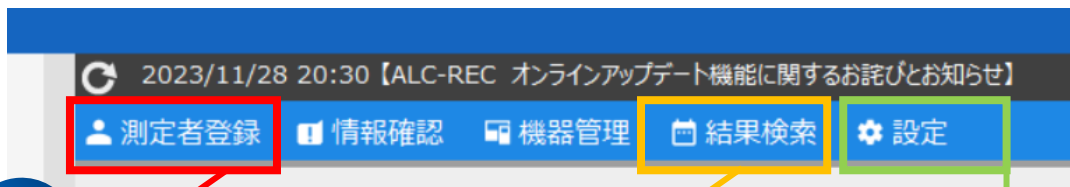
確認する

Step1

ALC-Recを起動します。データが引き継がれているかどうか以下の項目をご確認ください。確認後、Recを閉じます。



- ①測定者登録 ▶ 今までの登録者がある
- ②結果検索 ▶ 過去の結果がある
- ③設定 ▶ 今までの設定がはいつている



1

2

測定者登録

検索

No.	ID	氏名	免許
1	1	運行管理者A	
2	2	運行管理者B	
3	3	東京運行管理者	
4	4	運管次郎 (点...	
5	5	東海 三郎	

結果検索

2024年 7月 8日

条件

No.	ID	氏名
-----	----	----

3

設定

- 測定
- 測定管理
- 判定
- メール
- IC免許証
- サーマルプリンター
- 監視灯
- 帳票・データ出力
- 画面表示
- ネットワーク集約
- 他システム連動
- データ管理
- 会社情報・アップデート
- 点呼連動

POP3サーバー

POPサーバー名: pop.gmail.com

POPアカウント名: t123456@gmail.com

認証方法: POP3

帳票表示情報

会社名: ●●●株式会社

設置場所名: ○○○営業所

連動用ファイル出力

CSV出力形式: 出力

画面表示項目: 出力

※一例となります。設定していた項目をご確認ください。(設定していない場合は確認不要)

機器を設置する

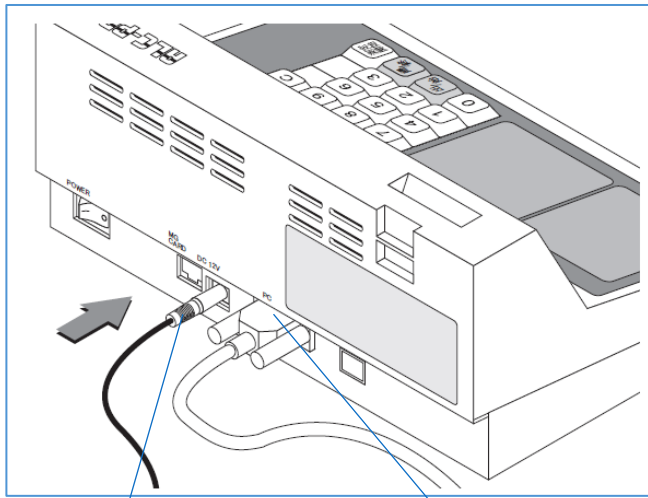
機器を設置する

- ・ケーブル類を接続します

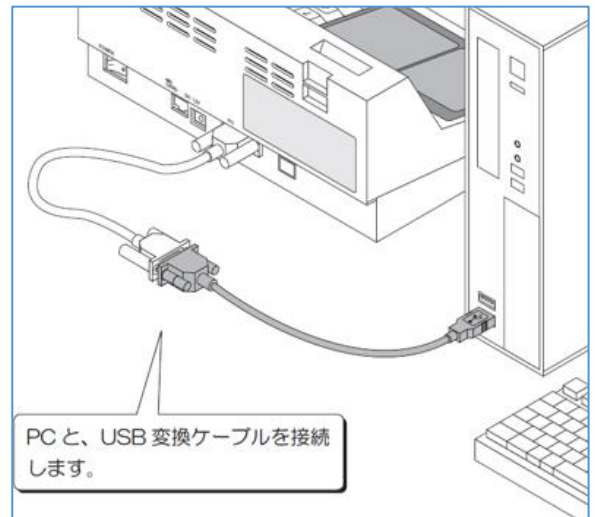
※IC免許証リーダーは必ずドライバーインストール後に接続してください。

step1

- ・ ACアダプターとRS232CケーブルをPRO2本体の背面に差し込む
- ・ RS232Cケーブルとシリアル変換ケーブルを接続

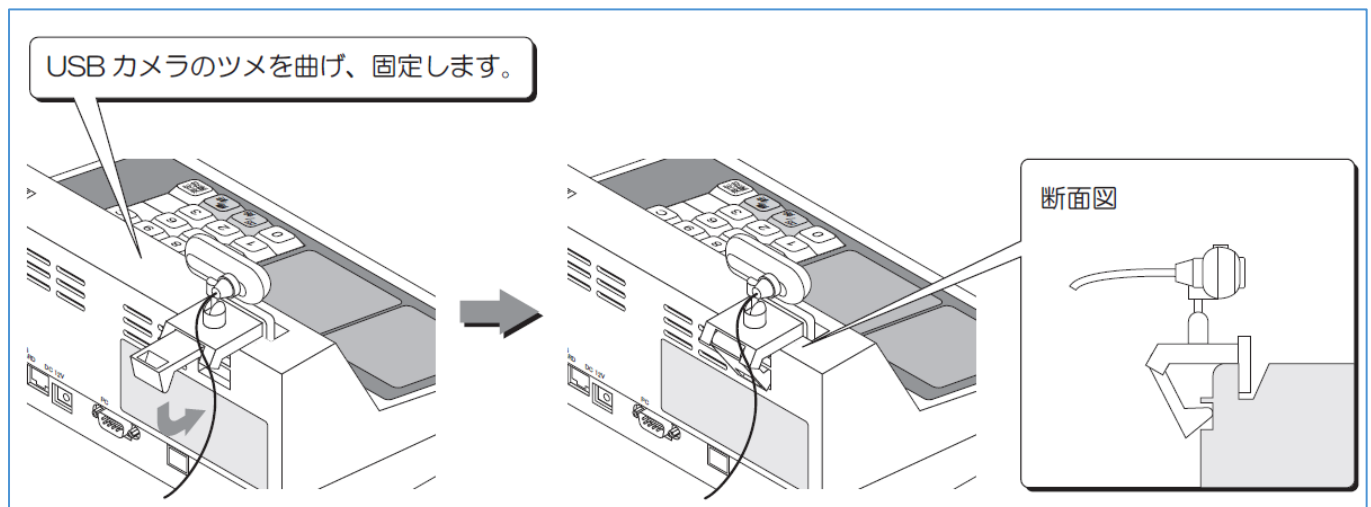


ACアダプター RS232Cケーブル



step2

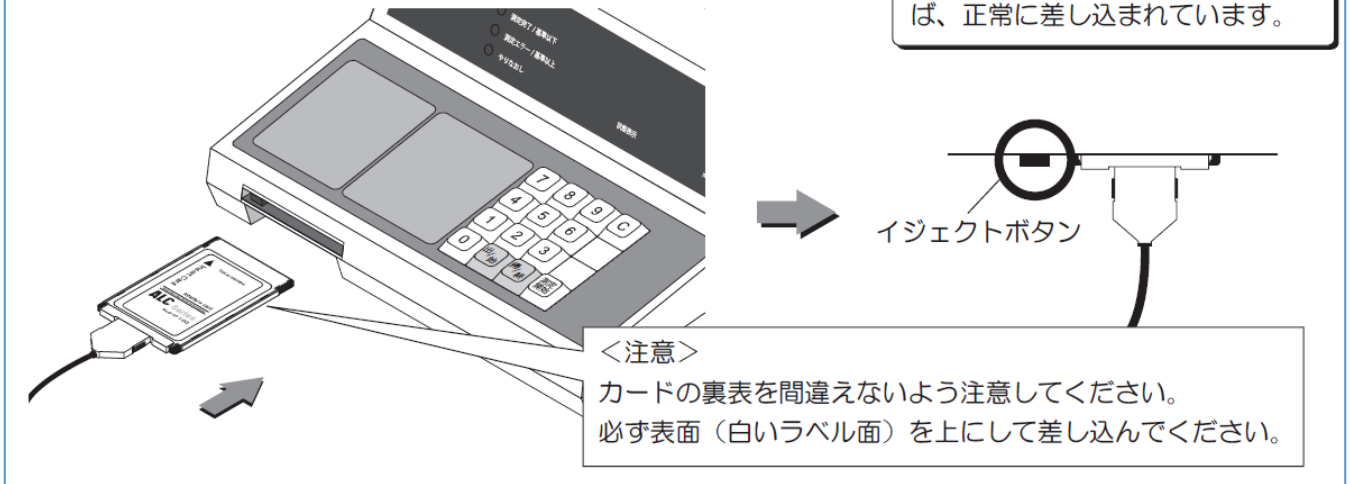
- ・ USBカメラをPRO2本体に取り付けてPCに接続



機器を設置する

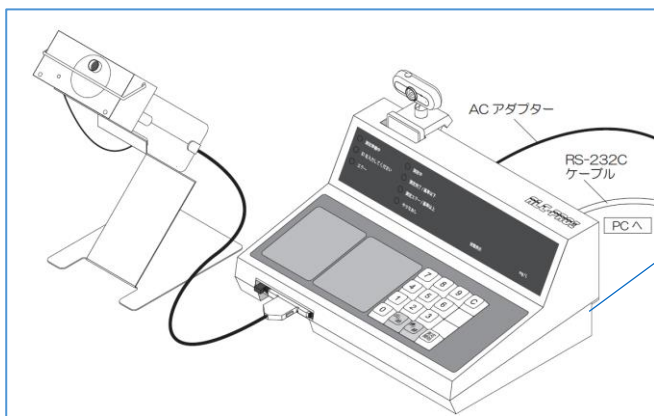
step3

センサーユニットのインターフェースカードを本体下部のカードスロットへ差し込みます。



step4

- ・ 設置完了後、PRO2本体の背面にある電源を入れてください

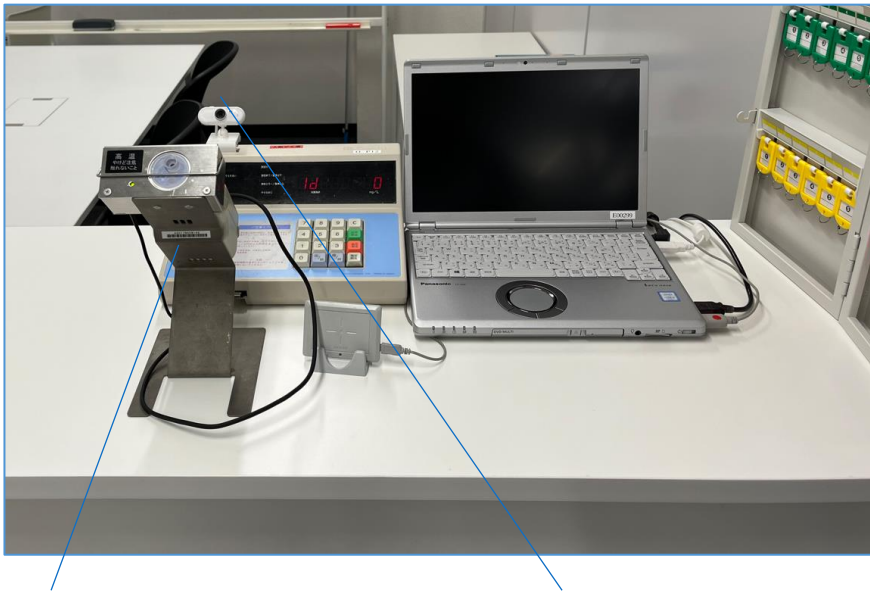


- ・ 電源を入れると1分間ウォームアップが行われます
- ・ PRO2本体から「ピー」という音が鳴った場合は、テンキーの「C」のボタンを押して下さい

機器を設置する

step6

設置イメージ図



センサーユニット

USBカメラ

<設置ポイント>

・ USBカメラの前にセンサーユニットが来るように設置してください。

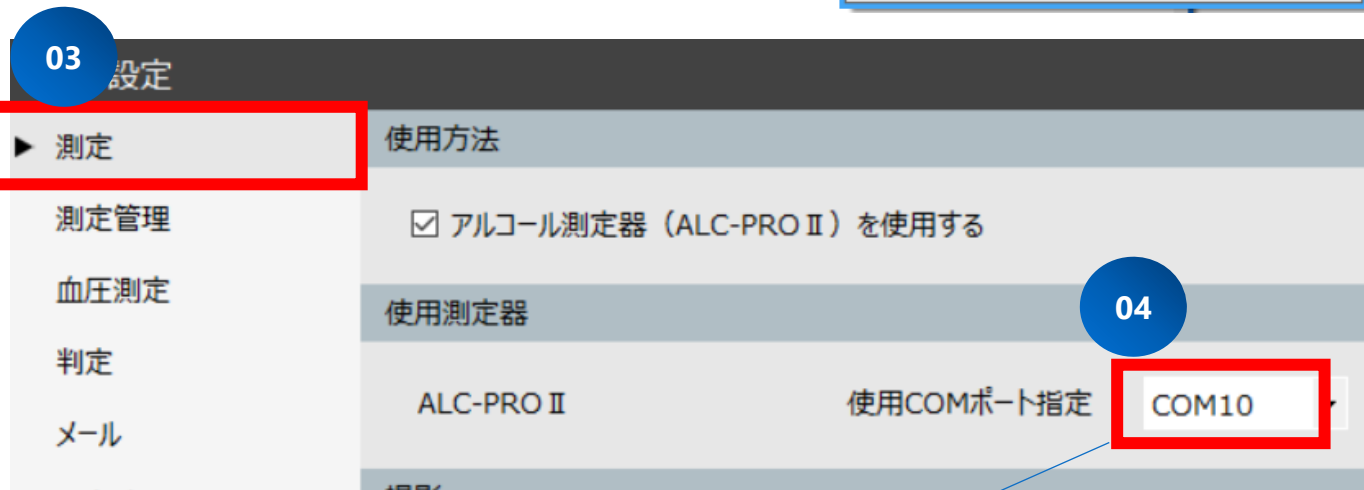
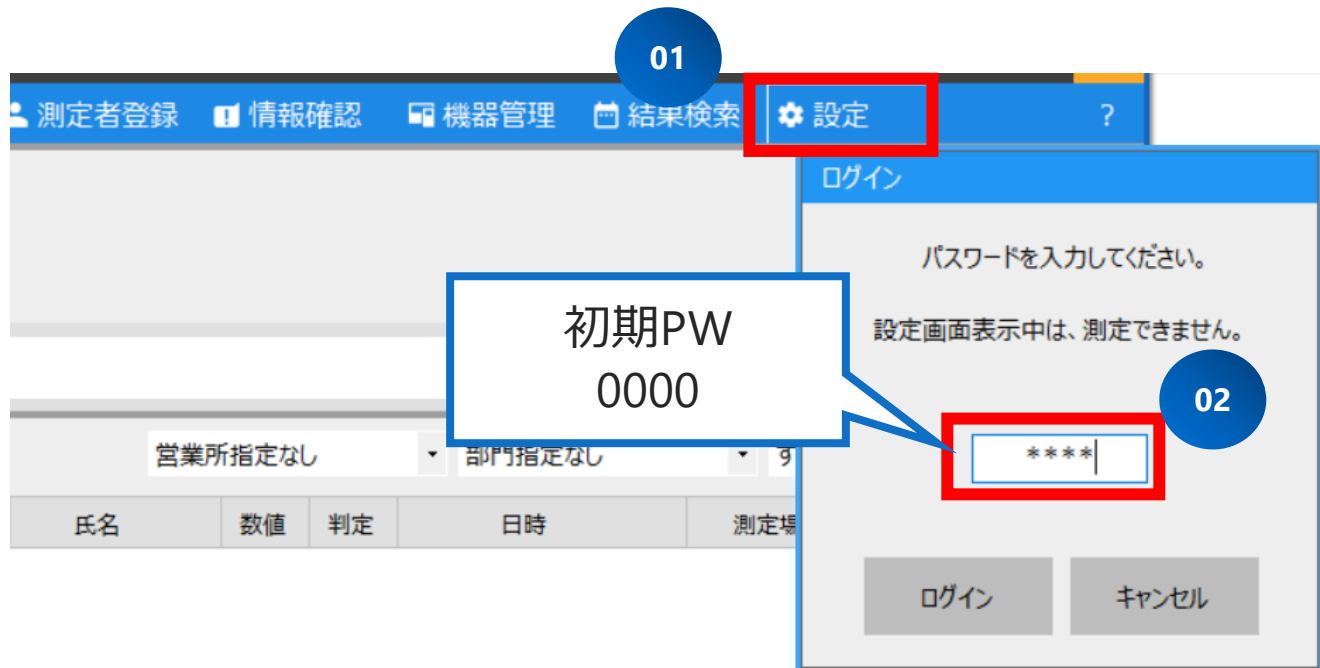
- ・ 検知器とPCは基本横並びで設置を推奨します。
- ・ USBの延長ケーブル等を使用すると、電力供給不足等で不具合が発生する可能性があるため推奨しておりません。

測定器とALC-Recを連動する

測定器とALC-Recを連動する

step1

測定機器とALC-Recを連動させるために、ALC-Recを起動し、設定の測定を開きます。



デバイスマネージャーにある
USB Serial Port(COM〇〇)と同じ番号を選びます



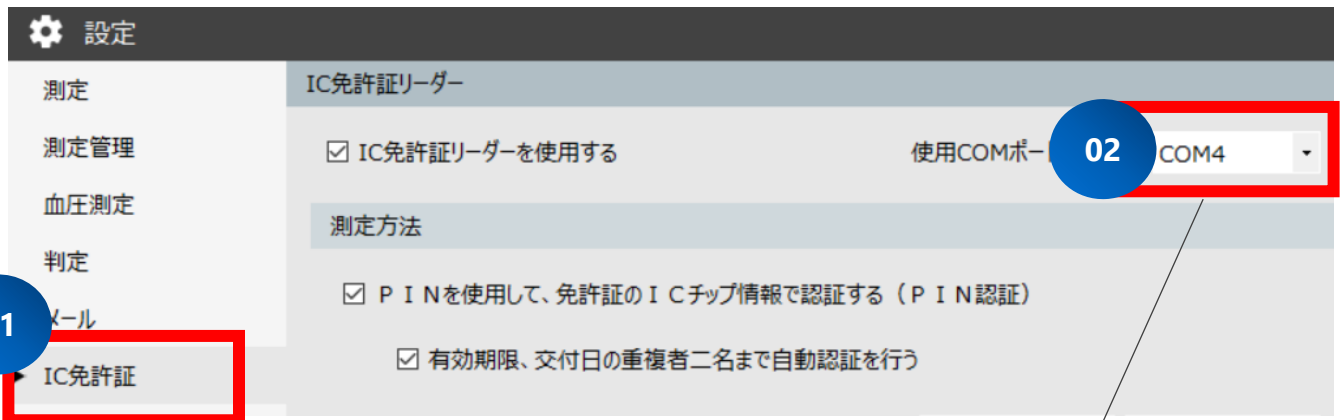
※デバイスマネージャーの開き方はP12を参照ください

免許証リーダーを連動する

免許証リーダーをご使用の場合以下の手順で連動設定を行ってください。
ご使用されていない場合、P27以降の作業を行ってください

step1

- ①ALC-Recの設定から「IC免許証」を選択
- ②使用COMポートの番号を確認



step2

- ③デバイスマネージャーにある
DENSO WAVE Active USB-COM Port (COM○○)と同じ番号
をALC-Rec内の「使用COMポート」に設定



Connected

必ずConnectedになっていることを確認してください。
Disconnectedになっている場合接続がうまくいきません。

※デバイスマネージャーの開き方はP12を参照ください

測定器とALC-Recを連動する

- ・ 設定を完了させる

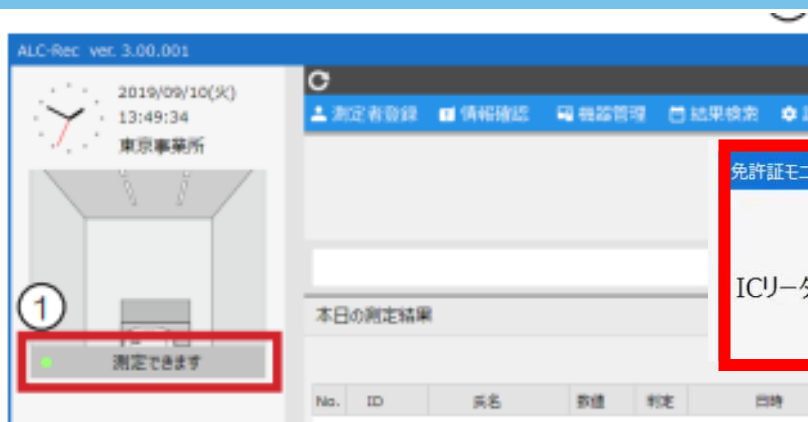
step1



設定

「設定」をクリックして完了

step2



免許証モニター

ICリーダーに免許証を置いてください。

- 測定できます ⇒ PCと検知器の接続がうまくいっています。
- 測定できません ⇒ PCと検知器の接続に失敗しています。再度ポート番号等をご確認ください。

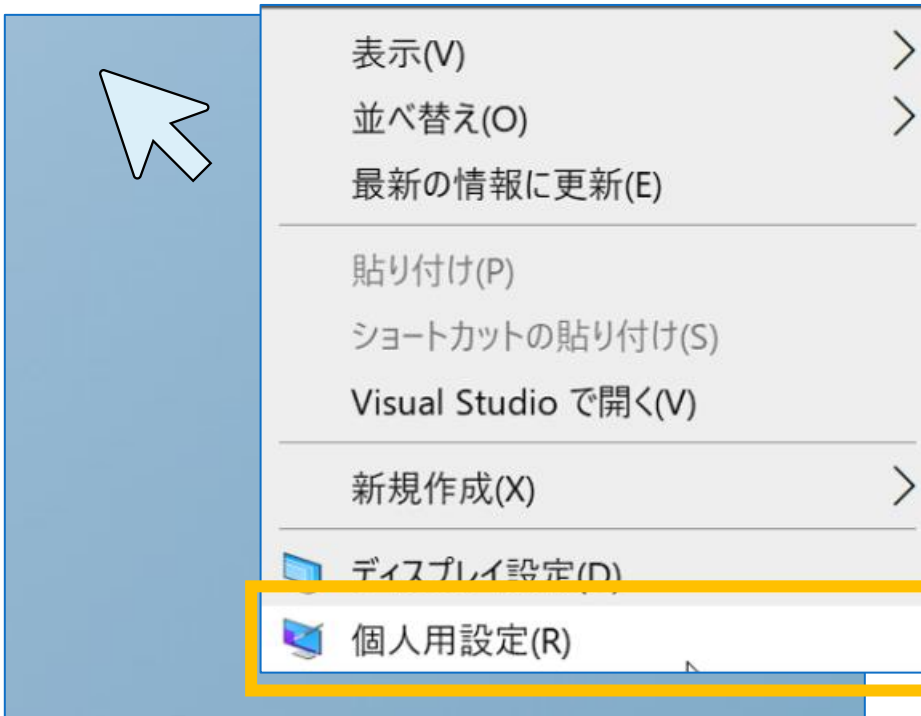
免許証モニター⇒ 「ICリーダーに免許証を置いてください」と表示されていればリーダーが正常に起動しています。

設定完了後必ず動作確認を行っていただき、動作に問題ないかご確認ください。

電源設定を行う

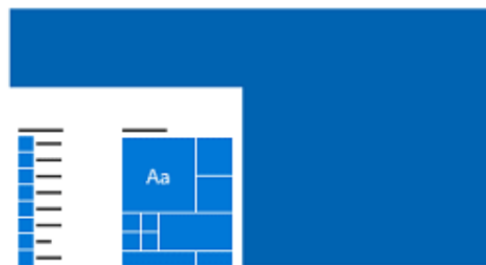
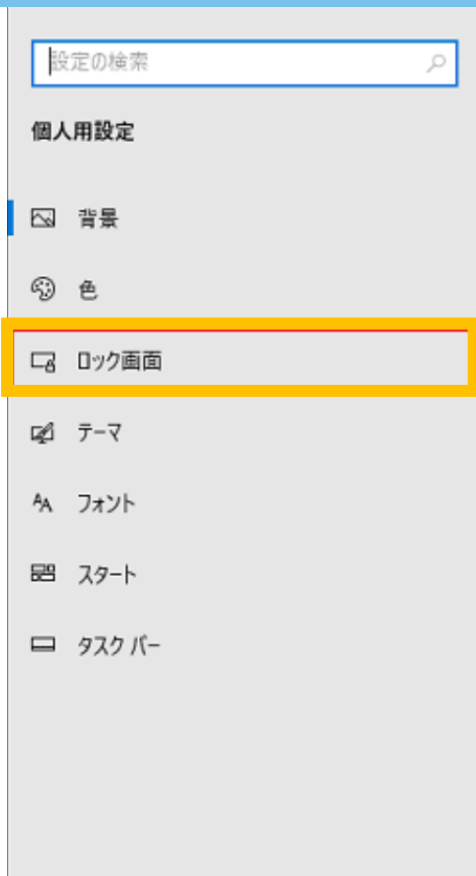
電源設定を行う

step1



デスクトップの画面上（何も無いところ）で右クリックをして「個人用設定」をクリックします

step2



ロック画面を選択します



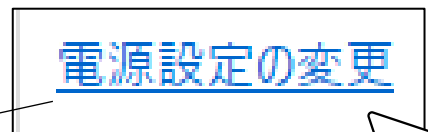
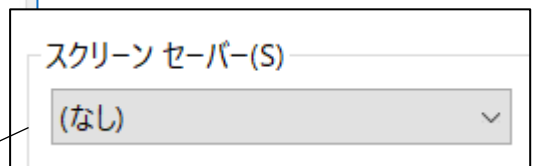
電源設定を行う

step3



スクリーンセーバー設定を選択

step4



クリック

電源設定を行う

step5

1

“現在利用可能ではない設定を変更します”を選択し、高速スタートアップの☑を外してください。

コントロールパネル ホーム

電源ボタンの動作を選択する

カバーを閉じたときの動作の選択

電源プランの作成

コンピューターがスリープ状態になる時間を変更

電源プラン

電源プラン

)のコレクション

選択された

○ バランス

自動的にパフォーマンス

● パナソニックの電源

自動的にパフォーマンス

電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化

コンピューターの電源設定を選択できます。このページの設定に対して行う変更は、お使いのすべての

現在利用可能ではない設定を変更します

電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定



バッテリー駆動



電源ボタンを押したときの動作:

スリープ状態

スリープ状態



スリープ ボタンを押したときの動作:

スリープ状態

スリープ状態



カバーを閉じたときの動作:

スリープ状態

スリープ状態

シャットダウン設定

高速スタートアップを有効にする (推奨)

変更の保存

キャンセル

2

電源プランの作成

既存のプランで開始し、そのプランに名前を付けます。

バランス

自動的にパフォーマンスと電力消費のバランスを取ります。(ハードウェアでサポートされている場合)

プラン名:

カスタム プラン 1

高パフォーマンス

プラン名を【高パフォーマンス】へ名称変更してください

次へ

キャンセル

step6

プラン設定の変更: カスタム プラン 3

スリープ状態やその他のディスプレイ設定をお使いのコンピューターに適用するまでの時間を指定してください。



バッテリー駆動



電源に接続



ディスプレイの電源を切る:

適用しない

適用しない



コンピューターをスリープ状態にする

適用しない

適用しない

作成

キャンセル

適用しないを選択して「作成」をクリックします

電源設定を行う

step7

電源プランの選択またはカスタマイズ

電源プランは、コンピューターの電源の使用方法を管理するハードウェア設定とシステム設定（ディスプレイの明るさやスリープなど）のコレクションです。[電源プランの詳細](#)

選択されたプラン

<input checked="" type="radio"/> 高パフォーマンス	プラン設定の変更
<input type="radio"/> バランス 自動的にパフォーマンスと電力消費のバランスを取ります。(ハードウェアでサポートされている場合)	プラン設定の変更
<input type="radio"/> バイオニックの電源管理	プラン設定の変更


先ほど作成したプランの右端にある「プラン設定の変更」をクリックします。

step8

コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > 電源オプション > プラン設定の編集

プラン設定の変更: 高パフォーマンス

スリープ状態やその他のディスプレイ設定をお使いのコンピューターに適用するまでの時間を指定してください。

	 バッテリー駆動	 電源に接続
 ディスプレイの電源を切る:	適用しない	適用しない
 コンピューターをスリープ状態にする:	適用しない	適用しない

[詳細な電源設定の変更\(C\)](#)

詳細な電源設定の変更をクリックします。

電源設定を行う

step9



- ・ハードディスク ▶ なし
- ・スリープ なし ▶ なし
- ・USB設定 ▶ 無効
(USBセレクトティブサスペンドの設定)
- ・ディスプレイ ▶ なし


上記の設定を入れてOKをクリックすれば電源の設定は完了です。

※お使いのPCによっては、表示項目が少ない場合もございます。その場合は、該当項目をご設定ください。

納品時にご不明な点がございましたら、
下記窓口もしくは営業担当へご連絡ください。

製品別お問い合わせ窓口

● 運輸安全PRO専用フリーダイヤル

 **0120-984-228**

受付時間：平日9:00～17:00

※土、日、祝日、年末年始は休業させていただきます。



東海電子株式会社

本社 〒419-0201 静岡県富士市厚原 247-15
<http://www.tokai-denshi.co.jp>